

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 16

プロフィール なかしま 中島 りょうこ 良子 (45歳) 東京都より移住

盛況! 荒町マルシェ

11月2日(日)、荒町商店会と地元を繋ぐ試みとして、加藤カメラ横駐車場を会場にイベント「荒町マルシェ」が行われました。当日は、子供会や荒町商店会、グループホームの方々などのご協力のもと、日用品や駄菓子、農産物などが販売されました。ステージでは、ジャズやフォーク、アイドルのライブもあり、とてもにぎやかな雰囲気に包まれていました。

また、笠間市地域おこし協力隊としての活動の一環として取り組んでいる「復刻幻のこしあん 伝統のおはぎ」の販売も実施したところ、販売早々完売となり、大勢の方にご来場いただき大盛況で終えることができました。これからもさまざまな「人と人、まちと人を繋ぐ」活動を行いたいと思います。



荒町マルシェ



..... 地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。笠間市では平成25年度より3名の隊員を受け入れました。

ブログやフェイスブックもご覧ください

ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/> facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課(内線537)

笠間市協力交流研修員 テイン★&ピンポ

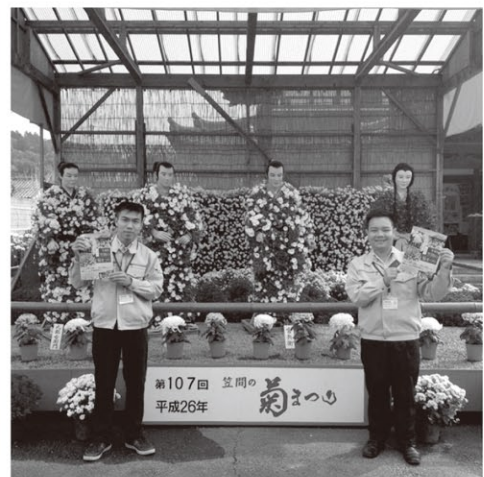
「笠間の菊まつり」を視察して

10月31日(金)、商工観光課職員と共に「笠間の菊まつり」を視察しました。メイン会場の笠間稲荷神社では、黄・白・ピンクなど色とりどりの菊が見事に咲いており、とても綺麗でした。中でも菊には懸崖や大菊などの種類があることをそこで初めて知りました。また、菊人形を見たのは初めてなので驚きました。デザインする人、絵を描く人、人形の型を作る人、菊を育てる人など、さまざまな人が関わっているそうです。すばらしい技術だと思いました。

私の母国ラオスでのお祭りは、基本的に仏教に関連したものです。年間を通していくつかありますが、中でも、新年のお祭りが最も重要であると考えられています。新年を祝うだけでなく、「浄化」の意味が込められており、お寺や各家庭を聖水で清めたり、お祭り期間中は国立美術館に所蔵されている仏像が会場へ移動されたりします。

笠間でたくさんのお祭りを視察してきました。ラオスのお祭りと比較すると、いつも新たな発見があります。研修期間中に、より多くのお祭りやイベントを視察したいと思います。

Sisavath Bimbo



菊まつり会場でテインさん(左)と私

笠間市協力交流研修員▶

テイン リン アウンさん(ミャンマー内務省職員)とシーサワット ピンボさん(ラオス・ルアンパバーン州職員)の2名が観光行政を中心とした研修に取り組んでいます。